

年頭所感

会長 長瀬 清



平成27年の年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、ご家族お揃いで佳いお年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

また常日ごろ北海道医師会の活動に対しましてご協力、ご支援をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

昨年4月、診療報酬の改定が行われました。消費税5%から8%への増税との同時改定で、消費税増税分が診療報酬で対応されることとされましたが、診療報酬は全体では実質マイナス改定でした。安倍政権発足後のアベノミクス政策の強力な推進で大企業の経営状況が回復し世の中は一見景気が良くなった様に見えますが、国民に実感されるまでに至っていません。医療機関にとっては相変わらず厳しい状況が続いています。物価の上昇で控除対象外消費税が重くのしかかっています。消費税増税分は医療、介護等社会保障に充当されることとなっておりますが、それ以外に回されるというようなことのないように十分な注意が必要です。

昨年暮れ、今年10月消費税10%への増税が、期待されていたような景気の上昇がみられていないとして、予期しない突然の衆議院解散、そして総選挙という慌ただしい日々の後、今、新たな年を迎えることになりました。選挙結果は安倍総理の描くシナリオ通りで、これからいっそう経済成長一辺倒の国の運営が行われていくことになるでしょう。医療に経済原理主義が持ち込まれては大変です。また、国の予算成立の遅れと、消費税増税の見込み違いで医療、介護、福祉等社会保障への手当てが遅れるのが心配です。

昨年、社会保障制度改革で19にも及ぶ法案が一括審議され、十分な議論が尽くされないままに重要な法案が成立しました。

なかでも次の三つが重要です。医療介護総合確保推進法案、第6次医療法改正、介護保険制度の改革です。医療介護総合確保推進法は、これからの超高齢社会に対応し地域の医療提供の整備(医療介護施設や医療従事者確保)に消費税を基に新たな基金制度(新基金)を創設するものです。医療法改正では地

域に必要な病床機能分化を病床報告制度を基に地域医療構想を作成します。介護保険制度改革は、市町村主体の制度を都道府県に移行。介護支援の見直しと、利用者負担増で経費圧縮を図るもので極めて重い社会保障制度の見直しです。また、医療法改正の中には、これまで長く議論されていた医療事故調査制度づくりが含まれています。いずれもこれからの医療のあり方を左右する重要な法案です。しっかりした議論が必要です。

昨年は、気象変動が激しく多くの地方での竜巻被害、また御嶽山の突然の噴火による犠牲者の発生、通常見ることのない場所に季節外れの大雪被害と、これまでに経験しない多くの災害が発生しています。これらが人による環境の変化によるものであれば、人類の滅亡にもつながりかねません。世界中の人が考えなければならないことです。

5年後には東京で夏季オリンピックが開催されることになっており、この度札幌市も冬季オリンピックに再度名乗りを上げることになりそうです。先ごろ、大変に話題になった日本創成会議の人口減少による「地方消滅」のショッキングな発表を、真摯に受け止めいかに地方を創生させるか、早く取り組まなければなりません。その一つの起爆剤となることを期待するところです。

日本医師会では昨年6月に役員選挙が行われ、一部役員交代がありましたが、横倉会長をはじめほとんどの役員が再任されました。北海道からは、副会長に中川俊男先生、監事に松家治道札幌市医師会長、理事に北海道医師会長の小職、そして裁定委員に元小樽市医師会長の城守先生が選任されました。横倉会長は「地域医療を支える」「組織を強くする」「将来の医療を考える」の三つを掲げ、活動を行っています。北海道医師会も日本医師会の方針に同調、それに地域特有のさまざまな問題に対して、的確に対応し、また、北海道発のユニークで、他の都府県の模範となるような活動を行っていきたいと思っています。

本年も会員の皆様の力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS

北海道医報
平成27年1月1日 第1156号

年頭の辞／年頭所感	長瀬 清	2
年頭所感	横倉 義武	4
年頭所感	高橋はるみ	6
年頭にあたって	高田 久	7
医の倫理綱領		9
報告／地域医療を担う青少年育成事業	小熊 豊	10
報告／保険医療医師研修会	橋本 洋一	13
報告／平成26年度医政講演会	笹本 洋一	14
報告／平成26年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	藤井 美穂	20
報告／第94回北海道医学大会総会	櫻井 晃洋	24
第41回全道医家囲碁大会		38
北海道医歌人会詠草		41
最新・医事紛争Q & A／過失なき医療事故の示談	黒木 俊郎、武市 尚子	42
税務相談室／給与所得の範囲および非課税となる給与	中村 孝一	44
特集／新春随想		45
ポラリスを仰ぐ北の大地から	稲川 昭、野呂 英行	74
大通公園を望む窓辺から	岡部 實裕、倉増 秀昭	75
医学会・医学講演会等開催情報		76
中央76 道南80 後志80 日胆80 空知81 道北82 北見83 道東84		
日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧		84
その他開催情報		85
日医認定産業医制度研修会開催一覧		86
計報		87
会議室／第17・18回常任理事会		88
新規指定医療機関		92
道医の動き		93
売貸医院・医師招聘情報		94
道医師国保の頁		98
季節風／急増する嚥下障害・誤嚥性肺炎・認知症	橋本 洋一	112

お知らせ

- 北海道医師会 育児サポート事業のご案内²³
- 第29回日本医学会総会2015関西 事前登録締切せまる!!⁷³
- 第49回北海道ドクターズゴルフ大会開催のお知らせ(予告)⁸⁷
- 協会けんぽからの『診療報酬明細書について(照会)』の変更について⁹¹
- 一生命保険「団体扱い」のお奨め⁹⁷
- 「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について¹⁰⁶
- 研修会等への託児サービス併設費用の助成について¹⁰⁶
- 日本医師会作成『心肺蘇生法C A B + Dカード』について¹⁰⁷／グループ保険のご案内¹¹¹

北海道医師会会員数	8,280名 (+13)	うち日本医師会会員数	5,878名 (+14)		
A	2,509名 (+6)	B2	4,537名 (+4)	C2	156名 (±0)
B1	601名 (+1)	C1	114名 (+1)	C3	363名 (+1)

平成26年11月30日現在 () 内前月比

作品紹介

金子 誠治 道庁池畔

1914(大正3)年~1994(平成6)年

砂川市生まれ。
1955(昭和30)年の作品。木版・紙(24.0×32.0cm)。

1919年に一家で小樽へ移住。旧制の小樽市立中学校で、棟方志功の友人であり、図画講師の成田玉泉に学ぶ。

授業が終わると成田玉泉の自宅へ押しかけ、絵の具や紙の選び方を教わった。版画に魅せられた作者は、下駄屋さんへ飛んで行き、朴歯の板を買っては、夢中で彫り上げた。

北海道美の遺産

写真・資料提供:北海道立近代美術館
(札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6881)

その後も、家業の青果業を手伝いながら、二階の物置をアトリエにして制作を続けた。画家や版画家を志すのは親不幸と言われた時代に「こっそり絵の具代を握らせてくれた母の手のぬくもりが忘れられない」と残している。

1930年に道展初入選。以後、数々の版画展で賞を受け1946年、道展会員になる。砂川で高校の美術教師を務めた後、1951年に小樽へ戻り、広告美術の仕事につく。1974年から作家活動に専念し、郵政省絵入り年賀はがきの原画制作等を手がけた。

寒さが厳しい冬景色にもかかわらず、版画ならではのシンプルな形や色が、ぬくもりを感じさせる作品。